

- 1 単元名 お気に入りの乗り物を紹介しよう
- 2 教科書教材 「はたらく じどう車」「『のりものカード』で しらせよう」 (教育出版)

### 3 単元について

本単元は、自分のお気に入りの乗り物について、「やくわり」と「つくり」にあたる必要な情報を読み取り、紹介する文章を書くことをねらいとしている。

これまで児童は、週末の宿題として、「お手伝い」のことを連絡帳に書く言語活動を積み重ねてきた。初めは、「何をした」から始まり、徐々に、「思ったこと」や、「見たこと」「聞いたこと」などの観点を持たせたことにより、たくさんの文を書けるようになってきた。また、既習の「見つけたよ、いきもののひみつ」では、伝えたいことをメモに書き、それをもとに、短く説明する文章を書くことをしてきた。多くの文で書けるようになってきたが、文と文の前後のつながりを意識した文章が書ける児童はまだ少ない。

そこで、本単元では、教師が用意した学習材の中から、自分のお気に入りの乗り物についての情報を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする力を伸ばしたい。

本単元の言語活動として、紹介したいことをメモにまとめ、メモをもとに短くまとめた説明の文章を書くことを位置づける。メモは、「ですから」という接続詞でつないだ「やくわり」と「つくり」を視覚的にまとめさせる。次に、文章として二段落で書くようステップを踏む。

学習材として、はたらくのりものシリーズの本を集めた。全員が手に取れるように、校内の図書室から38冊用意した。教科書教材と似ているところが多く、写真も多いので、児童が手に取りやすいと考える。以前、学級の児童が自分の好きな乗り物の名前を紹介したときに、半数以上の児童が知らないということがあった。本単元を通して、上手な説明の仕方がわかれば、その乗り物のことも友達に紹介できるかもしれない、という経験も踏まえ、本単元の学習につなげたい。

### 4 指導計画 (10時間扱い)

#### ◆指導事項 1, 2年B「書くこと」

- ア 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。

#### ◆言語活動 紹介したいことをメモにまとめたり、文章に書いたりする。

次	時	主な学習活動と内容	
1		◎お気に入りの乗り物を紹介するという言語活動をつかみ、単元の見通しをもつ。	

	1	①「バスはどんなのりもの？」と聞かれた時、どのように答えたら伝わりやすいのか考える。	学習材 (のりもの本)
	2	②「大まかな説明」の後に、「詳しい説明」があると伝わりやすいことを理解する。	
		③はたらく自動車の特徴をノートにまとめる。	
	3	③バスの「やくわり」と「つくり」についてまとめる。	
	4	④コンクリートミキサー車の「やくわり」と「つくり」についてまとめる。	
	5	⑤ショベルカーの「やくわり」と「つくり」についてまとめる。	
	6	⑥ポンプ車の「やくわり」と「つくり」についてまとめる。	
2		⑥「のりものカード」を書く言語活動を行う。	
	7	⑦知らせたい乗り物を一つ決める。	
	8	⑧自分が選んだ乗り物について、「やくわり」と「つくり」をメモに書く。	
	9	⑨メモをもとに、順序に気をつけて説明する文章を書く。	
3		⑩学習したことをまとめる。	
	10	⑩友達と読み合う。	

## 5 本時の指導（8／10）

- (1) 目標 必要な事柄を集めたり、確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができ  
る。 **【書くこと ア】**
- (2) 仮説との関連

文学的な文章に関する教材の読みを基調として、課題について書いたり交流したりして考えを深め、授業の振り返りの在り方を工夫していけば、「書くこと」を通して読む力を向上させることができるだろう。

『はたらくじどう車』は、わかりやすく説明する仕方として、「要旨を示してから詳しく解説する」かたちを示している。これは、わかりやすい説明の基本的な形である。内容をまとめて示す文と詳しく解説する文との対応に気をつけて読み、内容を正確につかむ。

『「のりものカード」でしらせよう』では、乗り物の「やくわり」と「つくり」、および両者の関係に着目して文章を書き、学習の定着を図る。

そこで、まず、一次の「はたらくじどう車」では、「やくわり」と「つくり」をつなぐ「ですから」に気づかせ、両者の関係を考えさせる。導入時には、自分ならどんな乗り物を紹介したいかと投げかけ、「上手に伝えるには、どんな書き方がよいのか」と自分たちが解決したい課題とし、児童が主体的に学習できるようにしたい。

二次では、紹介したいことをメモにまとめ、文章に書く言語活動を設定する。児童は学習材として乗り物の本を読んでいる。その中から、友達に紹介したい乗り物を選び、「やくわり」と、それを果たすための「つくり」が書いてある語や文を考えて選び、メモに書く。そのメモをもとに、短くまとめた説明の文章を書く。

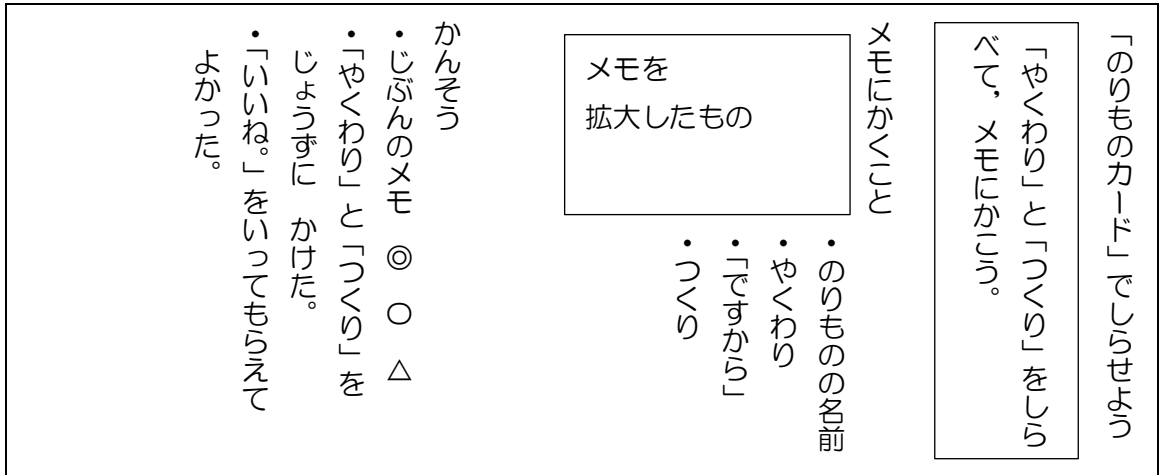
振り返りは、二つの観点について、一斉の形態で行う。一つ目は、「やくわり」と「つくり」をメモに書けたかどうかの自己評価を行う。二つ目は、書いたメモを友達に読んでもらってどうであったか、を振り返る。後者は、一年生の発達段階においては難しさもあるが、書くことを得意とする児童にとっては、推敲へつながる学習になると考える。

(3) 展開

学習活動と内容	過程 時配 形態	○指導 ◎評価 ☆仮説との関わり
1 学習範囲を音読する。 2 本時のめあてを確認する。 ・「やくわり」と「つくり」をメモに書く。 ・「ですから」でつながるつながるようにする。	見出す (5) 一斉	○自分が選んだ乗り物について、「やくわり」と「つくり」をメモに書くことを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">             自分が選んだ乗り物の「やくわり」と「つくり」をメモに書こう。           </div>		
3 メモに書く項目を確認する。 ・のりものの名前。 ・やくわり ・「ですから」 ・つくり		○バスの説明を思い出し、「やくわり」のための「つくり」が書かれていること、それらが「ですから」でつながっていることを確認する。
4 メモを書く。 ・図鑑などの学習材を読み、「やくわり」と「つくり」を調べる。 ・必要などころを選んで書く。	調べる (20) 個別	○前時までに、自分が使いたいページに付箋を貼っておく。 ○メモを書くことに悩んでいる児童には、口頭で「どんなのりもの？」と問いかけ、児童が簡潔に答えた言葉をヒントに、資料から探すよう助言する。
5 書いたメモを友達と交換して読み合い、よいところを伝えたり、質問したりしたら、サインをする。 ・「やくわり」と「つくり」が書けているね。	深める (10) ペア	◎自分が選んだのりものについて、「やくわり」と「つくり」をメモに書くことができる。 (学習カード) ○読み合ったときには、よいところや、質問などをしてからサインをするよう確認する。 ○指摘された箇所がすぐに直せるならば、赤でメモしておくことを確認する。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やくわり」と「つくり」がつながっているね。</li> <li>・わかりやすくて、いいね。</li> <li>・ここに、小さい「つ」をいれたらいいね。</li> </ul> <p>6 メモを書いた感想や、友達と紹介し合った感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモが完成した。</li> <li>・「やくわり」と「つくり」をすぐに書くことができた。</li> <li>・「いいね。」を言ってもらえてうれしかった。</li> <li>・〇〇さんのメモがわかりやすく書いていてよかった。</li> </ul>	<p>まとめあげる (10) 一斉</p>	<p>☆交流してメモを読み合い交流することで、文章を推敲する力をつけさせたい。</p> <p>◎「やくわり」と「つくり」のつながりを考えて、メモを友達と紹介し合っている。 (観察, 紹介の様子)</p> <p>○自分のメモについて, ◎, ○, △の自己評価を全員がする。</p> <p>○書いたものを友達に見てもらってどうだったか, さらに問う。</p> <p>○友達の手紙でよいものがあれば, 名前を挙げさせ, 全体で紹介する。</p> <p>○次回は, このメモをもとに「のりもの紹介カード」と書くことを予告する。</p>
--	---------------------------	--

(4) 板書計画



(5) 学習材リスト

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はたらくじどう車スーパーずかん」シリーズ</li> <li>・「はたらく車のしくみ・はたらき・できるまで」シリーズ</li> <li>・「くらべてみよう! はたらくじどう車」シリーズ</li> </ul> | <p>小賀野実 監修・写真<br/>       こどもくらぶ 編<br/>       市瀬義雄 監修・写真<br/>       他 39冊</p> |
|---|--|

